

15mm

# 建築デザイン表題

正会員 ○計画太郎\*  
正会員 意匠二郎\*\*  
正会員 ※建築三郎\*\*\*

(株) 学会設計 工学修士  
\*\* 建築大学大学院工学研究科博士課程前期  
\*\*\* 建築大学大学院工学研究科 教授・工博(※ 設計指導)

# Title of the Design Work

○ KEIKAKU Taro\*  
ISHIO Jiro\*\*  
※ KENCHIKU Saburo\*\*\*

\* GAKKAI SEKEI Co.LTD,M.Eng.  
\*\* Graduate Student,Graduate School of Eng.,Kenchiku Univ.  
\*\*\* Prof. Graduate School of Eng.,Kenchiku Univ.,Dr.Eng.(※Adviser)

## 応募規程

- 対象
  - 本会会員の設計・計画した建築デザイン(国外に立地するものを含む)とし、実施作品、計画案、大学の卒業設計、大学院の設計課題等を含む。
  - 建築物の意匠設計ばかりではなく、構造設計、環境・設備設計等の技術分野の設計、まちづくり・景観・団地・広場などの都市・地域デザインや造園の設計、保存・修復・復元等の設計、インテリア・家具・ディテールのデザイン、その他建築にかかわる設計を幅広く含む。
- 応募・発表資格 発表者(講演発表者および共同発表者)の資格は次による。
  - 講演発表者(○印)
    - 正会員(個人)・準会員であって、発表登録費(表-1参照)を期限までに納入した者。ただし論文予約会員の発表登録費は免除する。
    - XXXX年度会費未納者、XXXX年度以降の大会発表登録費未納者、XXXX年度論文予約購読費未納者は応募できない。
  - 共同発表者(連名者)
    - 正会員(個人)・準会員であって、発表登録費(表-1参照)を期限までに納入した者。ただし論文予約会員の発表登録費は免除する。
    - XXXX年度会費未納者、XXXX年度以降の大会発表登録費未納者、XXXX年度論文予約購読費未納者は応募できない。
    - 会員外であって、発表登録費を期限までに納入した者。
- 発表者の権利・義務 発表者の権利、義務は次のとおり。
  - 講演発表者(○印)は、建築デザイン発表会に出席し、一名X題、または学術講演会X題と併せてX題の講演発表を行うことができる。
  - 講演発表者は必ず大会に参加し講演発表をしなければならない。共同発表者による代理の講演発表は認めない。
  - ただし、建築デザイン発表会、学術講演会の両方に投稿しかつ相互の発表時間帯が重なった場合(半日単位)は、学術講演会の講演発表を行うこととし、当該の建築デザイン発表に限って代理の講演発表を認める。学術講演については代理の講演発表は認めない。
  - c項の場合、代理の講演発表は、正会員(個人)または準会員であり、当該建築デザイン発表の共同発表者に限って認める。該当する者がいない場合には、代理の講演発表を認めない。
  - 代理の講演発表は、一名X題を限度とする。
  - c項の「発表時間帯が重なった場合」とは、半日単位で発表時間が重なった場合を指す。
  - 共同発表者(連名者)は、名を連ねる梗概の題数に制限はないが、講演発表を行うことはできない。
  - 講演発表者の出席・欠席およびc項による代理の講演発表は学術推進委員会に報告され、記録として保存される。また、欠席およびc項による代理の講演発表の講演番号は本会ホームページにおいて公表される。
- 応募方法 ウェブからの応募に限る。ウェブ上の建築デザイン発表申込書および建築デザイン発表梗概原稿の送信をもって応募とする。なお、締切後の原稿の訂正は一切認めない。
- 応募部門 応募部門は、テーマを定めない一般部門と、テーマおよび招待講評者をあらかじめ公表するテーマ部門のいずれかとし、建築デザイン発表申込書の所定欄に応募部門を明記する。
  - 一般部門  
一般部門は、テーマの制約を設けない部門で、プログラム編成会議で発表セッション分けを行う。
  - テーマ部門  
テーマ部門のテーマおよび招待講評者は年度ごとに定める。XXXX年度のテーマ・招待講評者は別表による。テーマ部門はXテーマあたり最大XX題とし、招待講評者がプログラム編成時に選ぶ。テーマ部門に選ばれなかったものは、一般部門で発表する。
- 発表方法 発表の方法はポスター展示を伴う講演発表とする。発表方法等の詳細については、学術推進委員会が公表する。講演発表に際しては会場に備え付けられた機器(PC用プロジェクター)以外の使用はできない。
- 応募期間  
期 限:XXXX年X月X日(X)からX月X日(X)XX時(厳守)(学術講演の締切日と異なるので注意してください)  
提出先: <http://www.aij.or.jp/jpn/d-taikaiXXXX/>
- 建築デザイン発表梗概の採否 建築デザイン発表梗概の採否は、学術推進委員会が決定する。下記条項等に照らし建築デザイン発表梗概として不相当と認められるものは採択しない。不採択となった場合はX月XX日までに本人に通知する。
  - 梗概に記された内容が著しく不十分なもの。
  - 内容が商業宣伝に偏したもの。
  - 応募規程、執筆要領に反するもの。
- 発表登録費 発表登録費は表-1による。ただし、留学生の会員の発表登録費は応募申込み時に申請があれば減額する。
  - 講演発表者ならびに共同発表者は、発表登録費(表-1参照)

15mm

15mm

表-1 発表登録費

	発表登録費	発表の可否		
		講演発表 A	講演発表 B	共同発表
1) 論文予約会員	免除	可	可	可
2) 正会員・準会員				
・講演発表 A	X,XXX 円	可	不可	可
・講演発表 B	X,XXX 円	—	可	可
3) 留学生の会員				
・講演発表 A	X,XXX 円	可	不可	可
・講演発表 B	X,XXX 円	—	可	可
4) 会員外	X,XXX 円	不可	不可	可

注) 講演発表 A: 建築デザイン発表のみ X 題の発表  
講演発表 B: 建築デザイン発表および学術講演各 X 題(計 X 題)の発表  
を請求書に記載の期限までに納入すること。ただし、論文予約会員は、発表登録費を免除する。

15mm

15mm

所在地：東京都港区芝5-26-20

主な用途：事務所

敷地面積：300m<sup>2</sup>

建築面積：200m<sup>2</sup>

延床面積：200m<sup>2</sup>

キーワード：事務所・省エネルギー・免震構造

Location：5-26-20,Shiba,Minato-ku,Tokyo

Main Use：Office

Site Area：300m<sup>2</sup>

Building Floor Area：200m<sup>2</sup>

Total Floor Area：200m<sup>2</sup>

Keywords：Office, Energy Conservation, Base Isolation

- b. 共同発表の発表登録費は、題数によらず X 題分とする。
- c. 講演発表者（○印）は発表者を代表して共同発表者の発表登録費の納入の義務を果たすものとし、全員の発表登録費の納入のない場合は、当該建築デザインの発表ができない。
- d. 発表登録費未納者は、XXXX 年度以降の学術講演会および建築デザイン発表会に応募できない。
- 10. 大会参加費大会に参加する者は前記 9 の発表登録費とは別に大会参加費を納入するものとする。大会参加費および事前納入手続きについては本会ホームページおよび「建築雑誌」X 月号に掲載する。
- 11. 梗概集採択された建築デザイン発表梗概は DVD 版大会梗概集（学術講演梗概と建築デザイン発表梗概を収録）に収録し、頒布する。なお、発表登録費納入者には DVD 版大会梗概集を無償で送付する。
- 12. 著作権
  - a. 建築デザイン発表梗概の著作権は応募者に帰属するものとし、本会は編集出版権をもつ。
  - b. 梗概の複写権、翻訳権は本会に委託するものとする。
  - c. 著作権の侵害等の問題は応募者がすべての責任を負う。建築デザイン発表梗概集は電子形態によって公開されることを前提に、写真等については他者の著作権を侵害しないように十分注意する。
- 13. 電子形態による公開建築デザイン発表梗概集は、本会および本会が許諾したウェブサイトから全ページが公開される。
- 14. 講評等
  - a. テーマ部門では講評者が 2 題程度の建築デザインを顕彰する。
  - b. 大会終了後に講評者の講評を「本会ホームページ」に掲載する。

#### 原稿執筆要領

##### 1. 用紙設定

白地の A4 判 2 ページとする。ワープロソフト等で上マージン 15mm、下マージン 15mm、左右マージン 15mm、として設定する。なお、この基準から大きく逸脱した原稿は、執筆要領に反するものとして不採択となる場合がある。

##### 2. 記載方法

下記の項目をレイアウト見本に準拠して記載する。レイアウト見本はホームページ上で提供する。

###### a. 1 ページ目上段

- ・和文・英文で、表題、会員種別・発表者名・所属を記載する。
- ・会員種別・発表者名（連名の場合は講演発表者を筆頭に記し、氏名の前に○印をつける）は上段に記載する。
- ・連名者で、設計統括責任者・指導教員等を明示する必要がある場合は、その者の氏名の前に※印をつけることができる。※印を付した場合は、その役割を註記する。

###### b. 2 ページ目上段

- ・和文・英文で所在地（計画案の場合は適宜、とくに住宅等では建築主のプライバシーを考慮して表記する）、主な用途、敷地面積、建築面積、延床面積、キーワード、特記事項・データ等を記載する。

##### 3. 設計趣旨・説明文・図表および写真

設計趣旨（600 字以上）・説明文・図表・写真等は適当と思われる場所にレイアウトする。設計趣旨・説明文の文字の大きさは 8 ポイントを原則とする。図表および写真は原稿に貼り付けた状態で PDF 化し、別ファイルにはしない。発表者以外が撮影した写真等を使用する場合は、著作権に十分注意する。

##### 4. キーワード

発表申込書に記入したものと同一キーワード 3～6 個を必ず記述する。用語は日本建築学会「学術用語集—建築学編」から選ぶことを基本とするが、適当な用語がない場合はこの限りではない。

##### 5. ファイルサイズ（容量）の制限

ファイルサイズは X MB 以内とする。X MB を超えたファイルは受信しない。提出するファイルは一つとし、圧縮ツールによる圧縮やセキュリティは設定しない。

#### 電子投稿用原稿作成上の注意

##### 1. ファイル形式

電子原稿は Adobe Reader で表示および印刷可能な PDF（Portable Document Format）ファイルで提出してください。

##### 2. ファイルサイズ（容量）の制限

ファイルサイズは XMB 以内とします。XMB を超えると受信いたしません。またファイルは一つとし、圧縮ツールによる圧縮やセキュリティ設定はしないでください。

##### 3. ファイル名について

必ず拡張子（.pdf）がついているファイルをお送りください。

##### 4. 提出方法

提出方法はインターネットによる発表申込みの画面で送信してください。メール添付による提出はできません。

##### 5. 作成するアプリケーションと OS

原稿を作成するアプリケーションの制限はありません。OS は Windows X 以上または MacXX 以上を推奨します。

##### 6. PDF ファイルの作成方法

PDF ファイルは、原則として Acrobat X 以降（または同等品）を用いて作成します。作成方法についてはソフトに付属のマニュアルまたはホームページ上の執筆要項をご覧ください。

Acrobat の詳細については <http://www.adobe.com/jp/> をご覧ください。

##### 7. 使用できるフォントの制限

投稿された PDF ファイルは Windows または Mac 上で稼働する DVD に掲載されますので、原稿内に使用するフォントは以下に限定してください。

OS	Windows	Mac (OSXX 以上)
日本語フォント	MS 明朝または MS ゴシック	MS 明朝、MS ゴシック、ヒラギノ
英字フォント	Arial, Century, Helvetica, Symbol, Times, Times New Roman	

※ どうしても他のフォントを利用したい場合は、PDF 作成時にフォントの埋込みを行ってください。

15mm

15mm

15mm